

平成 2 4 年 度 決 算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 2 5 年 6 月

病 害 虫 防 除 所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	1
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	2
7	収入証紙取扱額調べ	4
8	収入事務処理状況調べ	4
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	5
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	5
11	不納欠損額調べ	5
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	5
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	5
14	財産に関する調べ	5
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	5
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	6
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	6
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	6
19	寄附物件の受納状況調べ	6
20	備品の処分状況調べ	6
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	6
22	事業別予算執行状況調べ	6
○	意見、要望等	6

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
病害虫防除所		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病害虫防除所の設置及び運営に関すること。 （植物防疫法第32条に規定）</li> <li>・ 病害虫発生予察調査及び予察情報の発表に関すること。 （植物防疫法第23条及び31条に規定）</li> <li>・ ミバエ類等侵入警戒病害虫に対する調査事業に関すること。 （植物防疫法第21条に規定）</li> <li>・ 輸出梨の検疫に関すること。</li> </ul>

4 職員の定員、現員調べ

（平成25年4月1日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	
定 員	1	1	12	12			13	13	
現 員	1 (1)	1 (1)	12 (12)	12 (12)			13 (13)	13 (13)	( ) 内は兼務職員 兼務職員の内訳 企画総務部 1(事務) 農業試験場 6(技術) 園芸試験場 6(技術)
過不足(△)	0	0	0	0			0	0	
臨 時 職 員									
非 常 勤 職 員									

5 役付職員の調べ

(平成25年5月31日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
所長	石谷 正大	年 月 1 2	本務 農林総合研究所農業試験場長
課長補佐	坂東 悟	4 2	本務 同 農業試験場 環境研究室長
課長補佐	田中 篤	4 2	本務 同 園芸試験場 環境研究室長

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要																				
<p>指定病害虫発生予察事業</p> <p>決算見込額 913千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 911千円</p> <p>一般財源 2千円</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的 植物防疫法第22条に規定する指定病害虫、及び県内で問題となる重要病害虫を対象として、適切な防除対策を講じるために必要な発生予察調査を行い、被害のまん延を未然に防ぐ。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>1) 予察灯、フェロモントラップによる害虫の誘殺調査及び現地定点ほ場における病害虫発生状況調査を行った。</p> <p>2) 病害虫防除所が行う発生予察を補完するため、16名の農業者を病害虫調査員として委嘱し、情報収集を行った。</p> <p>3) 農家が適切に防除を行えるよう、調査結果と気象予報により今後の病害虫の発生時期及び発生量を予測し、農業団体等へ病害虫発生予察情報を提供した。 発生予察情報は、国の規定に基づき、その重要度や内容により、予報、注意報、警報、特殊報として提供した。 その他、フェロモントラップの調査結果等迅速な情報提供が必要な場合は、指導情報として情報提供を行った。</p> <p>(1) 対象とした作物及び病害虫</p>																					
<p>重要病害虫発生予察事業</p> <p>決算見込額 661千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 661千円</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象作物</th> <th>指定</th> <th>重要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作物</td> <td>イネ、ムギ等3作物</td> <td>15種</td> <td>19種</td> </tr> <tr> <td>果樹</td> <td>ナシ、ブドウ等3作物</td> <td>11種</td> <td>17種</td> </tr> <tr> <td>野菜・花き</td> <td>スイカ、ネギ等8作物</td> <td>12種</td> <td>41種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>38種</td> <td>77種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(指定病害虫に関する調査及び報告業務は、法定受託事務)</p>	区分	対象作物	指定	重要	普通作物	イネ、ムギ等3作物	15種	19種	果樹	ナシ、ブドウ等3作物	11種	17種	野菜・花き	スイカ、ネギ等8作物	12種	41種	計		38種	77種	
区分	対象作物	指定	重要																			
普通作物	イネ、ムギ等3作物	15種	19種																			
果樹	ナシ、ブドウ等3作物	11種	17種																			
野菜・花き	スイカ、ネギ等8作物	12種	41種																			
計		38種	77種																			

事業名	概要
	<p>(2) 提供した病害虫発生予察情報 (H24.4~H25.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予報：主要病害虫の発生予測を定期的に発表(12回/年間計画12回)</li> <li>・ 注意報：多発生が懸念される病害虫について発表(2回) 第1号 果樹カメムシ類 第2号 イネ：斑点米カメムシ類</li> <li>・ 警報：病害虫の大発生が予想される場合に発表(なし)</li> <li>・ 特殊報：新規病害虫の発生や、生態及び発生消長が特異な場合に発表(なし)</li> <li>・ 指導情報：調査結果の速報及び迅速な情報提供が必要な場合に発表(64回)</li> </ul> <p>(3) ホームページでの情報提供回数 (H24.4~H25.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報更新回数101回、アクセス数8,244回</li> </ul> <p><b>イ 平成24年度事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年、発生が少なく、今後も問題にはならないと予想される重要病害虫1種(イネドロオイムシ)について、調査対象から除いた。</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <p>各関係機関に、各対象病害虫に関する情報を提供することにより、現場指導に活かされた。</p> <p><b>エ 課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水稲いもち病防除剤として県内で広く使用されているストロビルリン系薬剤(嵐、アミスター、オリブライト、イモチエース等)の薬剤抵抗性菌が県外で発生した。現時点では本県での耐性菌発生は確認されていないが、引き続き薬剤耐性菌に関するモニタリング体制の構築および耐性菌が発生しにくい取り組みについて現場関係者ととも努力していく必要がある。</li> <li>・ 各担当者が発生予察業務と試験研究業務を兼務していることもあり、調査数の多い夏期を中心として業務負担が大きい。以前から調査項目や調査方法について見直しを行い効率化を図っているが、引き続きの努力が必要である。</li> </ul>

事業名	概要
ミバエ類等侵入警戒調査事業 決算見込額 119千円  (財源内訳) 国庫支出金 119千円	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的            法定受託事務として、国内への侵入やまん延が特に警戒されているミバエ類等の侵入警戒調査を行い、これらの病虫害を早期に発見する（植物防疫法第21条及び第32条の2）。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チチュウカイミバエ及びコドリリングについて、県内4ヶ所でフェロモントラップによる調査を実施した。</li> <li>・平成21年に東京都のウメで確認されたウメ輪紋ウイルスについて、全国規模の発生状況調査が実施され、県内4市町のウメ、モモの発生状況を調査した。</li> <li>・スイカ果実汚斑細菌病について、県内12ヶ所でほ場調査を実施、疑わしい症状のあるものについては、検体を採取し、抗血清による検定を実施した。</li> <li>・バラ科植物の火傷病について、県内ナシ生産ほ場6ヶ所でほ場調査を実施した。</li> </ul> <p><b>イ 平成24年度事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミバエ類等侵入警戒調査事業に関するチチュウカイミバエ等の調査地点について従来の河原町から、樹園地面積が広く、交通アクセスのよい八頭町へ変更した。</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <p>各対象病虫害とも、県内への侵入及び発生は確認されなかった。</p> <p><b>エ 課題</b></p> <p>調査業務の効率化に向けた努力を引き続き行う必要がある。</p>

**7 収入証紙取扱額調べ**

該当なし

**8 収入事務処理状況調べ**

**(1) 分担金及び負担金**

該当なし

**(2) 使用料**

該当なし

**(3) 手数料**

該当なし

**(4) 財産収入**

該当なし

**(5) 諸収入**

該当なし

**(6) 現金の取扱状況**

該当なし

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

該当なし

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4) 委託料

該当なし

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成25年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手類	円 33,001	円 18,000	円 29,280	円 21,721	
収入印紙	0	0	0	0	
合 計	33,001	18,000	29,280	21,721	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

(3) 債 権

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

該当なし

(2) 物 品

該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

22 事業別予算執行状況調べ

目 名	肥料植物防疫費	(平成25年3月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
病虫害防除所運営費	病虫害防除所の設置及び運営に要する経費	
指定病虫害発生予察事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
重要病虫害発生予察事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
ミバエ類等侵入警戒調査事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし